

# 町政を問う！

## 一般質問

### 来年度 予算編成は

原 紀夫議員

来年2月に町長選を控え、すでに町職員が出馬表明し、報道等では現職は出馬に意欲的とされているが、現段階では態度を明らかにしていない。出馬するかしないかによって、質問の視点にも関わるので、出馬について、発言ができるのであればお願いしたい。

本年度予算は、予算審査特別委員会にて修正動議が可決され、本会議では議員全員により附帯決議が可決されるなど、大荒れの

議会であつたが、来年度予算は、どのように考えて編成しようとしているのか伺う。

また、まちづくり計画推進委員会が、鋭意、町民視点から協議しているようだが、その内容をどのようにいかそうとされているのか。

高薄町長

現在は、来年2月の任期満了まで、職務を全うすることのみを考えている。

3月定例会の附帯決議を受け、職員には財政健全化というものを再認識し、事業執行していくうえで経費の節減をするよう指示している。

予算編成作業に入る際

には、第5期総合計画における事業について、整理や見直しをしながら、コスト削減を念頭に置き、取り組みでいく。ひとつひとつの事業が町民の安全・安心につながっているのかどうか、また、町の経済が効果的に円滑に進んでいく方向性にあるのかということとを照らし合わせながら予算編成を行いたい。

まちづくり計画推進委員会からいただいた意見等については、検討して予算に反映させていく。



### ひとり暮らし 対策は

原 紀夫議員

高齢化が進むなか、65歳以上の高齢単身世帯が増え、国立社会保障・人口問題研究所の調査によると、2030年には全世帯の4割に達する見込みとなつている。高齢単身世帯を男女別に見ると、今後ひとり暮らしの男性が増え、社会的に孤立する可能性が指摘されている。

本町においても高齢化が進行し、以前から対策が急がれており、先月も亡くなってから数日後に発見

されたケースもあつたと聞く。現状、どのような措置がとれているのか伺う。

高薄町長

本町の高齢者世帯率は30%を超えており、高齢者のひとり暮らし世帯も増加の一途をたどっている。町としては、安否確認を兼ねた在宅サービスや緊急通報電話サービスのほか、給食宅配や除雪サービス、救急医療情報キットの設置等を行っている。

また、今年からは民間介護事業所と連携し、孤立防止対策、安否確認を目的として介護保険サービス事業を展開、約80戸が登録され、週2・3回の電話と月1回の訪問を実施してお

り、さらなる利用者の拡大をはかっていく。

社会福祉協議会で実施しているサロン事業などに、ひとり暮らしの男性の参加をうながす方策を考えていきたい。

### 介護保険事業 第5期計画の 推進

木村好孝議員

国の介護報酬と介護保険法の改定により、介護報酬1割の負担増、訪問介護の生活援助時間短縮などが町の計画推進に関わり、利用者への影響や課題について伺う。